

令和元年度包括外部監査結果に対する措置状況（教育委員会）

監査テーマ：子育て支援の充実に関する施策の財務事務の執行について

令和2年10月末現在

指摘結果	区分 意見	報告書 ページ	所管課名	対象事業名	指摘事項	指摘概要	措置の実施状況	措置 状況
	44	168	学校教育課	幼稚園補助事業	補助金関係係について	全ての案件ごとに交付要領が綴られているが、わざわざ印刷する必要はなく、2～3部を印刷しておき必要に応じて利用すれば十分である。	令和2年度から、交付要領をあらかじめ数部印刷し、必要に応じて決裁時のみ添付することとした。	措置済
	45	169	学校教育課	幼稚園補助事業	実績報告書に添付される決算書について	実績報告書に添付する決算書として、学校法人会計基準に基づいて作成される計算書類一式を提出している案件と資産収支計算書のみを提出している案件が混在している。書類入手の目的、提出を求める書類を明確にするべきである。	令和2年度から、計算書類一式の提出に統一することとした。	措置済
	46	174	社会教育課	家庭の教育力充実事業	家庭教育研修会のアンケートの活用について	今後の家庭教育研修会でも引き続きアンケートを実施し、参加者の意見や要望等を聴取し、今後のテーマ選定や家庭教育研修会の周知・充実等に活用することが望ましい。	今後もアンケートを実施し、参加者の意見や要望等を聴取し、テーマ選定や家庭教育研修会の周知・充実等に活用する。	措置済
	47	174	社会教育課	家庭の教育力充実事業	家庭教育支援基盤形成事業の今後の在り方検討について	家庭教育支援基盤形成事業は、民生委員や児童委員の方々になければ立ち入ることができないような相談を受けているため、市内全域に広げることは難しい。スクールソーシャルワーカー事業と似通った部分があり、今後については、城北小学校での需要や活動状況を考慮して、家庭教育支援基盤形成事業の子育て支援コーディネーターについての在り方を検討するべきである。	子育て支援コーディネーターは、城北小学校を拠点としたモデル的な取組として、地域から家庭教育を支える仕組みづくりのために、保護者からの相談対応や地域との交流を促進する場の提供等を行っており、学校現場におけるいじめや不登校といった問題に対し支援を行うスクールソーシャルワーカーとは異なる活動意義があることから、地域コミュニティの弱体化傾向にある状況下において地域と家庭をつなぐために必要な存在であることを再確認し、今後も子育て支援コーディネーターによる支援体制を継続することとした。	現状維持
35		178	こども支援センター	心身の発達支援を必要とする子ども及びその家庭への総合的な支援	職員の社会保険料等の算定誤りについて	職員5名について、社会保険料に係る標準報酬月額随時改定がなされていなかったため、給与から天引きされる社会保険料が過少となっており、こども支援センターが負担する社会保険料の支出額も過少となっていた。今後は、システムで自動的に随時改定のフラグが立つような設計にする、複数人のチェック体制を設ける等のチェック体制を設ける等の確認体制の強化を求めたい。	令和元年度から、複数人でチェックする体制をとることとした。 なお、令和元年度に、八戸年金事務所へ「健康保険・厚生年金保険被保険者報酬月額変更届」を提出のうえ、過誤分の支払いを済ませている。	措置済
36		181	図書館	親子の心ふれあう機会の提供	絵本の在庫管理について	購入・配付数量と一体で在庫数量を管理し、紛失や誤発注のリスクを低減すること。また、年度末には棚卸を実施し、帳簿と実際の在庫に差異が無いか確認し、適切に物品を管理すること。	令和元年度から、在庫数量を管理する帳簿を作成し、在庫管理を行った。	措置済